

# 令和3年度 新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金事業

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、新型コロナウイルス感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、緊急経済対策として、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるよう、国が創設した交付金です。交付限度額として示された額について、地方自治体が支援策等を提案(申請)し、国の審査を受けて実施するものです。

## 1. 事業費合計額

**1億2,099万7千円**

(内訳：地方創生臨時交付金 1億93万9千円  
一般財源 2,005万8千円)

## 2. 約半数を占めるのは

**緊急経済対策事業 5,678万円**

(全体の46.8%)

### 内容

#### 〈町プレミアム商品券発行事業〉

新型コロナウイルス感染症により減収となった商工業者を支援する目的で、30%プレミアム付き商品券の発行およびインフルエンザ予防接種やマスク購入などで負担が増えた家計と町内事業者を支援するため、全町民に対し生活応援100%プレミアム商品券(1人あたり3,000円分の商品券)を送付し、地域経済の活性化を図ります。

#### 〈ガンバルめがみちゃん応援キャンペーン事業〉

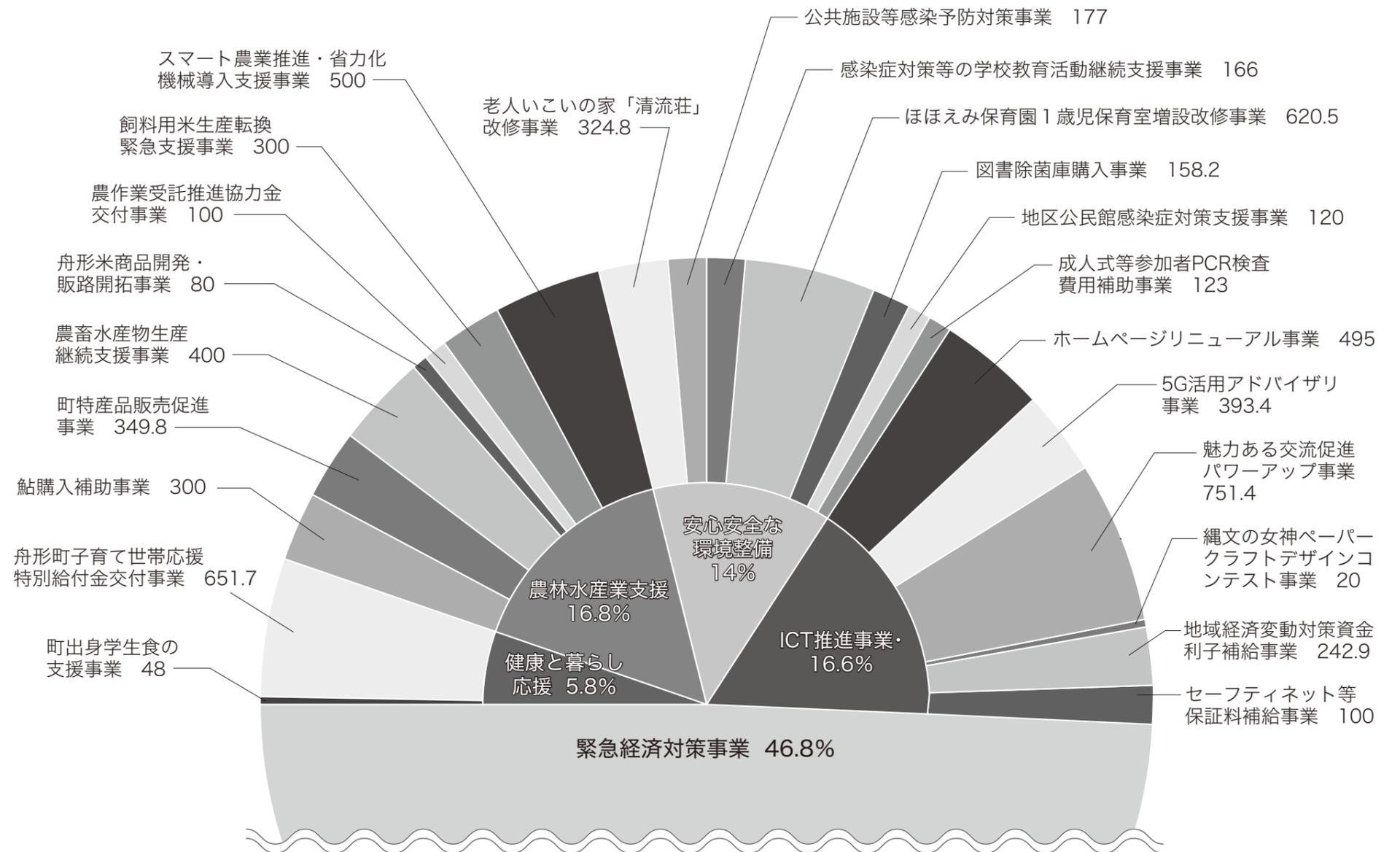
感染症による売り上げ減少への対応として、小売り、飲食、サービス業を対象に、事業所独自に発行する商品券への補助を行い地域経済の活性化を図ります。

#### 〈町緊急経営支援事業〉

感染症により厳しい経営状況の町内事業者に対し、10万円の支援金を給付し、持続可能な経営の支援を図ります。

## 3. 残りの半数は？

総事業費1億2,099万7千円のうち、約50%を緊急経済対策事業として活用します。残りの半数は、大きくわけて4つに分類されます。残りの事業費の内訳については次のグラフ(単位：万円)を、事業の内容については次のページをご覧ください。



# ～事業内容の紹介～

## I 健康と暮らし応援

### ①町出身学生食の支援事業 480万円

・町出身学生に特産品を送付し町の良さを再認識してもらい、将来的な地元への回帰につなげます。

### ②舟形町子育て世帯応援特別給付金交付事業 651.7万円

・子育て世帯に対する特別給付金を支給し支援をします。

## II 農林水産業支援

### ①飼料用米生産転換緊急支援事業 300万円

・コロナ禍において、需要が大きく減り価格下落が懸念されている加工用米（はえぬぎ）を、需要のある飼料用米へ転換して出荷する方および飼料用米の既申込者に対し緊急的に支援し、水稻農家所得の最大化を目指すとともに、営農の継続を目指します。また、将来主食用米の販売を拡大するため、水田機能を維持し、水田を減らさないことを目的として本事業を実施します。

飼料用米の生産面積に対する定額助成

1. 昨年度産の面積以下 @3,000円/10a 2. 昨年度を超える面積 @10,000円/10a

### ②スマート農業推進・省力化機械導入支援事業 500万円

・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、接触機会を減少させるとともに、省力化・軽労化を進め労働力不足を解消するため、スマート農業および省力化等にかかる農業機械の導入を支援します。また、米の需要や販売価格が落ち込み収益性が低下していることから、収束後を見据え、産地間競争に打ち勝てるよう衛星を使った稲生育管理システムを用いて付加価値の高い商品づくりを進めるとともに、機械の有効活用および農業所得の確保を図るため農作業委託を推進します。

対象額の1/3に相当する額、または、助成限度額（80万円）のいずれか低い額となります。

### ③農畜水産物生産継続支援事業 400万円

・農畜水産物の市場等の価格低迷により、販売額が下落した生産者に対し支援することで、生産継続の意欲の醸成を図ります。今作および次期作に必要な経費に対する補助金です。ただし、国および県の他制度に該当するものを除きます。

### ④舟形米商品開発、販路開拓事業 80万円

・新型コロナウイルス感染症の収束後の経済活動の復興を図り、強靱な構造を実現します。衛星を使った稲の生育管理を行うシステムを栽培に用いて作った米について、1) 付加価値の高い商品づくり、2) 新たな販路開拓または流通体制の構築に取り組む農家等に対し、その経費の一部を補助します。ただし、国および県の他制度に該当するものを除きます。

### ⑤農作業受託推進協力金交付事業 100万円

・新型コロナウイルスの感染等によって農作業が実施できない農家を支援するため、農作業を受託する方に対し、農作業受託推進協力金を交付します。ただし、国および県の同様の制度に該当するものを除きます。

### ⑥町特産品販売促進事業 349.8万円

・ふながた若鮎まつりが中止となり、売り先を失った鮎について、福祉施設等への焼き鮎などの寄贈を町が行うほか、鮎のドライブスルー販売や若鮎まつり協賛者への販売、販路拡大に係る企画等を行う事業者に対して運営費等の補助を行います。

### ⑦鮎購入補助事業 300万円

・ふながた若鮎まつりが中止となり、売り先を失った鮎の販売促進を図るとともに、鮎の町内外へのPRを図るため、小国川漁業協同組合から鮎を購入する事業者に対し、1尾あたり購入金額の1/2（上限100円）の補助を行います。

## III 安全安心な環境整備

### ①老人いこいの家「清流荘」改修事業 324.8万円

・新型コロナウイルスに係る濃厚接触者の指定避難所となっている清流荘のトイレの改修と、ルームエアコンおよび換気扇の更新により空気の循環を良くし、感染予防を図ります。

### ②公共施設等感染予防対策事業 177万円

・公共施設や避難所でのウイルス等感染症対策や避難者の健康を守るため、必要な物資を確保します。

### ③感染症対策等の学校教育活動継続支援事業 166万円

・教育活動を継続するために、児童生徒や教職員等の感染対策に必要な机、イス、サーマルカメラ、アルコールディスペンサー等の備品、消耗品を購入します。また、子どもたちの学習保障支援として、感染症対策をしながら学びの保障のための児童用タブレットのブルーライト防止シールを購入します。

### ④舟形ほほえみ保育園1歳児保育室増設改修事業 620.5万円

・子育て支援センター移設に伴い、1歳児教室を増設し、“密”を防止したより良い保育環境を整備します。

### ⑤図書除菌庫購入事業 158.2万円

・図書の貸し出しによる感染を防止するため、保小中及び中央公民館、子育て支援センターに除菌庫を整備します。

### ⑥地区公民館感染症対策支援事業 120万円

・町内各地区の社会教育拠点施設である地区公民館の新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、換気扇、サーキュレーター、網戸、冷房設備、消毒液等を整備することで、町内会に補助します。

### ⑦成人式等参加者PCR検査費用補助事業 123万円

・令和2年度および令和3年度の成人式参加者を対象に、コロナ感染症拡大防止対策として、PCR検査費用を補助します。感染拡大を防止するとともに、参加者が安心して参加できるようになります。

## IV ICT推進事業・その他

### ①ホームページリニューアル事業 495万円

・今後も新型コロナウイルス感染症についての情報を発信していくとともに、利用しやすいデザインの構築、各種SNSとの連携の強化、職員による更新作業の操作性の向上を図ります。

### ②5G活用アドバイザー事業 393.4万円

・コロナ禍で交流ができなくなっている連携自治体と5G環境でオンラインで住民交流を深める。また、町内での5G活用施策を検討します。

### ③魅力ある交流促進パワーアップ事業 751.4万円

・ポストコロナを見据え、町特産品等の食の魅力発信及び陶芸体験などの地域資源を磨き上げ、ワーケーション推進のほか交流人口を増加させ、地域の活性化を図ります。

### ④縄文の女神ペーパークラフトデザインコンテスト事業 20万円

・コロナ禍の中で新生活様式の事業の一環として、各家庭でも取り組めるように、郷土の宝である国宝「縄文の女神」を題材としたペーパークラフトデザインコンテストを開催します。

### ⑤地域経済変動対策資金利子補給事業 242.9万円

・県、地域経済変動対策資金貸付として県が認めたものに対して、通常1.6%の利子のうち金融機関が0.6%、県が0.5%、市町村が0.5%をそれぞれ負担し、無利子での貸付とします。  
※令和2年8月31日までに認定申請書を県が受理したものです。

### ⑥セーフティネット等保証料補給事業 100万円

・新型コロナによる影響を受けセーフティネット保証制度を活用した保証料について、保証料補給を行います。